

2010-11年度 2550地区大会のお知らせ

Part2

2010・9/24.25.26

**あなたの地区大会です！
積極的参加を！**



道下俊一様

地区大会の開催にあたり

齋藤玄昌など多くの蘭方医を輩出した壬生町。北関東自動車道に加え、ドクター・ヘリが獨協医科大学に配備され緊急救命対策もよくなりました。玄昌先生も天国で喜んでおられるでしょう。

彼は当時今市に住んでいた二宮尊徳先生を58回も往診しています。片道9里もある道を歩いてです。まさに職業奉仕の見本といえましょう。

ロータリーの高潔さを一般の人々に理解していただくのに役立ち、PRをかね、職業奉仕を地区大会のテーマに選んだ理由です。

錦上花を添えるため、北海道の赤ひげ先生こと、医学博士、道下俊一先生にRI会長代理をお願い致しました。

さらに、“地域を育む”ため、高橋福八パストガバナー様に『思えば叶う』を講演していただくことになりました。話が上手で、地域活性化に成功した方です。RI元会長ドクターマン曰く、面白い卓話は会員維持につながります。



高橋福八様

クラブの繁栄は元気な地域社会があって成立します。街に活気を溢れさせるには住民の気持を明るくしなければなりません。みんなを澆刺とするには音楽が大きな役割を果たします。例会で歌うのと同じです。

そこで地元中学の吹奏楽部を鼓吹しようとした次第です。役場も積極的に応援してくれます。GSEのメンバーにプロの音楽家がいる、中学生のレベルアップに協力してくれることになりました。地区大会では素晴らしい演奏を披露できると思います。



吹奏楽部練習風景

幸い壬生町の公民館では世界の一流の音楽家が演奏して、町民の音楽に対する理解も高く、生徒や保護者の笑顔が今から浮かびます。

地区大会の成功を祈りますと町民からすでに激励され、ロータリーの認知度も上がり、これで善行少年の育成も効果が高まります。国際ロータリーの長期計画にも合致します。

第6グループが一体となったの計画です。

さあ、地域を育もう！

どうぞ最後までご参加下さい。



壬雷ちゃん

(壬生町のマスコット)

「壬雷ちゃん」は壬生町の「壬」に雷様の「雷」と未来を掛け合わせたものです。



地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

2010-2011 RIテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ



BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

国際ロータリー第2550地区

R. I DISTRICT 2550

http://www.rid2550.com/

2010-2011

VOL.02

ガバナー月信

ガバナーメッセージ

人生にとって何が大切か

国際ロータリー第2550地区
2010～2011年度ガバナー

瀬下龍夫



テレビは私の高校時代には発売されていませんでした。マイカーなど夢のまた夢でした。ところが、IT技術は止まるところをしません。iPS細胞の開発により無限の可能性も生まれました。たかだか半世紀の間です。近未来には宇宙旅行すら可能になりそうです。物質文明の進歩は想像をはるかに越えます。さらに市場のグローバル化は進み、国家間の壁もより低くなり、貧富の格差は拡大するでしょう。非物質的価値も大きく変わらしましょう。

一方、ローマの哲人皇帝マルクス・アウレリウスの『自省録』を読むと、人間の精神は二千年前のままです。

ところが今の世の中はどうでしょう。政府から相撲協会まで、自ら改革できず、あの体たらくです。外から見れば自明のことも分からないのです。われわれの組織も同じ轍を踏まぬと断言できるでしょうか。もって他山の石とすべきでしょう。

奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップはロータリーの中核となる価値観です。これらの価値観が今ほど求められているときはありません。心していただければ幸いです。

“人生にとって何が大切か”アメリカの倫理学者であるマイケル・ジョセフソン氏は次の通り詠っています。近藤隆亮PGの訳でその一部を抜粋ご紹介します。

大切なことは、貴方の成功ではなく、貴方が価値ある人であるか否であります。

大切なことは、貴方が学んだことではなく、貴方が教えたことです。

大切なことは、貴方を手本にしようとする、他の人々を勇気付け、力付ける、貴方の高潔性であり、同情心であり、勇気や犠牲を伴う行為であります。

大切なことは、貴方の能力ではなく、貴方の人格であります。

大切なことは、貴方がどれだけ多くの人を知っていたかではなく、貴方が死んだ時、その喪失をどれだけ多くの人が、どれだけ永く感じ続けるかであります。

大切なのは、貴方の記憶ではなく、貴方を愛した人々の記憶であります。

大切なのは、貴方が愛した人々より、どれだけ永く記憶に留められているかであります。

大切な価値ある人生は、突然生まれるものでもなく、環境によるものでもなく、

それは貴方の選択によるものです。

貴方の人生をどのように生きるか、貴方が自分で決めて下さい。

それが大切なのです。

第2550地区ガバナー事務所

8月のロータリーレート1ドル=88円

〒320-0826 宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551
メールアドレス/m2550@agate.plala.or.jp

VOL.02
CONTENTS

1P ガバナーメッセージ 2P～5P 委員長就任あいさつ 6P-7P クラブ会長・幹事紹介
8P 新入会員・物故者・文庫通信 9P 6月 会員増強・出席報告 10P 地区大会のお知らせ



委員長就任あいさつ



職業奉仕委員会委員長 飯村 慎一 (宇都宮90RC)

企業の不祥事が、毎日のように新聞・テレビ等を賑わしており、企業のガバナンスのあり方が大いに問われております。特にそれらの不祥事は、経営者自らが関与しているケースがほとんどで、誠に憂えるべきことで、これらを防ぐため会社法等の法規制が強化されてきております。しかし、“法”で対応できても、当事者の“心”が変わらなければ不祥事は無くならず、今こそ、ロータリーの職業観・倫理観を企業経営者に浸透させる必要があるのではないかと思います。

職業奉仕は、ロータリーと他の団体や組織と一線を画することのできるすばらしい特質であります。この概念は、アーサー・シェルドンが100年以上も前に、シカゴ大学院(経営学専攻)で学んだ“20世紀の経営学の基本理念”をロータリーの“職業奉仕”の理念へ適用したものであります。従いまして、それは倫理高揚運動ではなく、科学的かつ合理的な企業経営の方法で、その職業奉仕理念に則った経営(service)すれば継続的に利益(profit)が得られると解いており、“He Profits most who serves best” (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)というモットーの言葉が生まれました。

職業奉仕の実践は、お客様の満足度を最優先する経営の実践でありまして、その様な経営する企業は、高い職業倫理が備わっており、自ずと倫理的意識が高揚していくのです。そして、職業を通じて社会に奉仕した後、それに相応しい報酬を受けることが職業奉仕であり、正しい経営をすれば必ず富が得られると、シェルドンは述べております。つまり、企業は利益追求の組織でありますので、世の為、人の為になると同時に事業を繁栄させ、周囲の人達の幸せと調和のとれた範囲での利潤を求めていくのです。「利己と利他の調和」がとても重要になります。

これからも混沌とした社会が続くことと思いますが、ロータリアンとして“職業奉仕”の光を輝かせながら、企業経営にそしてロータリー活動に邁進してまいりますので、宜しく願い申し上げます。



クラブ奉仕委員会委員長 鈴木 宏 (宇都宮北RC)

私たちが参加するロータリーの目的は、唯一つ「商いの根っこに『サービスの理念』を置くこと」、言葉を換えれば、シェルドンの言うところの「He Profits Most Who Serves Best」を会得することです。この思弁的概念としての「自利≒利他」という「真理」に私たちロータリアンはどのようにすれば近づいて行けるのでしょうか？

それは、例会に出席していくことによって、「知らずしらずのうちに身につけられる」構造が、そこには存在しているという現実を多くの方が体験されておられると思います。

その構造を更に有効とするには、クラブ例会の環境整備だと思います。第一に「職場からの解放」すなわち雑念からの解放ー損得勘定のない世界ー子供の頃の心に戻れる術は…第二に「話し合いと心と心の触れ合い」ー形骸的な例会運営の中で、会員同士話し合える時間がないとしたなら、どのような工夫が必要でしょうか…「Review & Renew；再検討し、刷新しよう」(1969-70年度J.F.コンウェイのTarget) クラブで色々とお考え下さい。

私たちは、例会での話し合いを通して「良き友人」を得ることによって、さらに「Diversity & Inclusion；多様性の受容」を味わい、その限られた時間と空間を「共に生きる」ことによって「多様性という矛盾を含みうるクラブは、その調和に因って成り立っている」ことを自覚し、「自分の周りにいる人すべてが大切な人」ということを会得し、「Cosmic Consciousness；天地の理法」すなわち「the reality of the brotherhood of men；人類皆同胞の自覚」ー家族同様に人間の価値を無限に深く愛お

おしむ心が身につく、この思弁的概念としての「自利≒利他」という境地に、友人はもとより職場・地域社会・国際社会においても、そこに近づいていこうとする心、これが「ロータリーのサービスの理念」の意図するところではないのでしょうか。(参照：1911年国際大会でのシェルドンのスピーチ)

まずは、例会に出席すること、これが「クラブ・サービス；他人様のお役に立てる」第一歩だと思います。この一年間ワクワクする例会運営を期待し、就任の挨拶とさせていただきます。



社会奉仕委員会委員長 柿沼 賢 (宇都宮西RC)

CLPが導入されてから、四大奉仕が少しづつ影が薄くなってきたように思えたが、そんなことはない、RI会長のレイ・クリングスミスさんは、四大奉仕をかなり重要視されております、とガバナーエレクトの瀬下さんが申されておりました。特に2010年～2011年の「方針とテーマ」の中にも、社会奉仕と職業奉仕を合わせれば、地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にできます。と記されております。

ところで、ロータリーの社会奉仕は、ロータリアンひとりひとりの個人生活、事業生活、社会生活に、奉仕の理想を適用することを奨励、育成することであり「超我の奉仕」を実証する機会である。と言われております。そして、地域に住む人々の生活の質を高め公共の為に奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。と手続き要覧にうたわれております。この精神にたって10項目になる勸奨事項がございますが、そのなかに

1. 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブの会員に地域のニーズを検討させること。
2. 社会奉仕プロジェクトを実施するにあたっては、会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を活かすこと。

をはじめ、地区内の立場や力量を勘案してプロジェクトをはじめよ。とか他のグループとも緊密に協力すること、等々ございます。各々のクラブが独自に方針にもとづいて、身の丈に合った社会奉仕活動を展開していただきたいと、願っております。

また2010～2011年度ガバナー瀬下さんも参加されました足尾の植樹ですが、今年4月多くのクラブの皆さん、インターアクトの皆さんとバス2台で奉仕して参りました。

来年4月も行われますので、宜しく願い致します。



米山記念奨学会委員長 塚越 啓司 (足利東RC)

米山記念奨学事業は、1953年にクラブ単独事業として「米山基金」の名の下に募金が開始され、翌年タイより奨学生第一号を迎え入れて以来、50年以上の歴史を持ちます。現在、年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費14.5億と国内では民間最大の奨学事業であります。「将来、日本と世界とを結ぶ『架け橋』となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材の育成」を使命とし、世界でも類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっております。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で1万5,775人、その出身国は世界119の国と地域に及びます。ロータリー会員のご支援の下、「未来へかける平和の架け橋」として重要な役割を果たしてまいることができました。そして現在、世界の日本の日本を俯瞰しますと、これから先米山奨学事業の存在意義はますます高まることと確信しております。例えば、昨年学友会がとうとう設立されました中国に目を向けますと、今年ついに日本の

GDPを抜き世界第二位になることはほぼ確実となっております。また、近々に人民元の値上げによる資産の増加に伴い、中国企業による外国企業の買収、M&Aが加速されることが予想され、世界へ大きな影響を及ぼすことでしょう。一方日本は経済の衰退と人口の少子化による労働力及びマーケットの縮小、と中国とは対極的な構図が明らかになってきています。日本の産業にとって、これまで安い労働力を供給する生産地であった中国は、パートナーとして、また大きなマーケットとしての位置づけに変わってきています。このような世界情勢の中、単なる奨学金による経済的支援にとどまらず、「世話クラブ・カウンセラー制度」を通して奨学生一人ひとりにロータリアンのきめ細かい支援と精神的ケア、心のこもった交流活動を提供し、日本での留学生生活をより豊かな体験となるよう配慮した米山奨学事業こそ大きな意味があると信じております。例えば、中国での人脈は外から容易に入り込めるものではなく、それによって失敗を重ねる日本企業も多いと聞きます。闇雲に外から入ることとは違う信頼関係に支えられた人脈を広げ、より深い両国相互理解を実現しているのが米山奨学事業ではないでしょうか。それは単なるお金の交流ではなく平和の心を広げる国際奉仕事業だからです。そしてこの日本のロータリーが誇る米山奨学事業はまさしくロータリアン一人ひとりの手により支えられているのです。これからも引き続き地区会員の皆様方のご理解ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



国際奉仕委員長 大金 義夫 (大田原RC)

瀬下ガバナーより、国際奉仕委員長と世界社会奉仕委員長を仰せつかりました、大金義夫です。

日頃よりロータリアンの皆様には、何かと当委員会へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

国際奉仕委員長は世界社会奉仕委員会(WCS)と友情交換委員会の、二つを柱として支援活動してまいります。

●世界社会奉仕委員会

2カ国以上のRCが1つの社会奉仕プロジェクトを達成するために協力する時を、世界社会奉仕(WCS)プロジェクトと言います。世界社会奉仕(WCS)プロジェクトとは、援助が必要なRCと資金や物資、技術提供や専門的援助を提供する他国のRCを結びつけるものであり、その世界社会奉仕(WCS)プロジェクトには3つの条件があります。

- ①プロジェクトの本質は人道的なもの
- ②2カ国以上のロータリー国のロータリアンが関与すること
- ③参加国のうち1カ国はプロジェクト実施国であること

2550地区においても、調査の結果過去に28クラブ以上がWCS活動を実施しました。

●友情交換委員会

ロータリアンとその家族が、他国のロータリアンとその家族と相互訪問し、相手の文化を直接体験し、お互いのロータリアン同士が国際理解を促すことを目的とし、世界の異なる地域を体験し、個人的な繋がりによる末永い友情を築く機会を作ることを行います。

友情交換プログラムには、訪問者交換とチーム交換の2種類がありますが、いずれの場合も、個人または夫婦の参加者数と期間は自由ですが、両地区同士が詳細を決め、それにお互いが同意しなければなりません。

●本年の活動方針

1.知る努力と知らせる努力

①地区委員による担当地区割り

- ・大金→第一グループ・第二グループ・金子→第三グループ・第四グループ
- ・中島→第五グループ・第八グループ・第九グループ・佐藤→第六グループ・第七グループ

グループ分けして、各クラブの皆様のご要望、地区やRIとのパイプとして行動して参ります。

- ②地区国際委員会会議を定期開催して情報交換に努めます
- ③ガバナー月信を活用して情報公開や広報をして参ります

2.地区現状調査と集計ならびに分析

昨年に引き続きアンケートを実施して、地区クラブの活動現状調査と集計・分析をして参ります。

- ①世界社会奉仕(WCS)委員会の調査結果分析
- ②国際奉仕委員会の活動現状調査の実施と集計
- ③友情交換委員会の活動現状調査の実施と集計

今年は、昨年の世界社会奉仕委員長に引き続き、国際奉仕委員長も拝命して活動させていただきます、地区役員4年目で少し息切れして参りましたが、全力で頑張りますので、皆様方のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。



ロータリー財団委員長 近藤 隆 亮 (宇都宮RC)

昨年度に続き、地区ロータリー財団委員長及びロータリー財団部門カウンセラーを勤めさせていただきます。地区内各クラブの皆様、ロータリー財団活動に尚一層のご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

ロータリー財団の設立は、皆様ご既承の通り1917年、時のRI会長アーチC・クランプにより提唱された「世界でよい事をしよう」に始まります。

現在、ロータリー財団はRIの非営利法人(NPO)として下記の使命の下に活動して居ります。即ち、「**ロータリアンが、健康の増進・教育への支援・貧困の救済等の活動を通し、世界理解・親善・平和促進を達成できるよう支援すること**」であります。具体的には「ロータリー・クラブと地区を通して実施されるロータリー財団が承認したプログラムへの支援資金を供与する非営利法人」と位置付けられて居ります。

ロータリー財団が資金供与の対象とするプログラムは下記2つの分野に集約されます。

- ***人道的プログラム**：保健・飢餓追放・人間尊重(3H)、地区内・外国でのプログラム(WCS)、ポリオプラス
 - ***教育的プログラム**：国際親善奨学金、世界平和フェローシップ、平和・紛争解決研究、GSE
- これらのプログラムへの支援資金は全て皆様からの財団への寄付金により賄われて居ります。

財団への寄付としては大きく下記の3つの種類があります。

- ***恒久基金**：ロータリー財団活動の基礎と成るもので、運用益のみを具体的プログラムへ供与します。
- ***年次寄付**：3年間運用の後、年次プログラム基金として国際活動資金と地区活動資金に分割の上、年次プログラムに供与します。
- ***使途指定寄付**：ポリオプラス等具体的にプログラムを指定した寄付です。

当地区財団委員会は、下記6委員会を通して皆様のロータリー財団活動を支援致します。

- ・国際親善奨学金委員会
- ・研究グループ交換(GSE)委員会
- ・財団補助金委員会
- ・年次寄付・恒久基金委員会
- ・財団学友委員会
- ・ポリオプラス&識字率向上委員会

皆様が、地区ロータリー財団委員会を積極的に活用し、皆様のクラブの活力あるロータリー財団活動への参加、協力、支援を実現して戴きたく、重ねてお願い申し上げます。

以上瀬下ガバナー年度のスタートに当り、改めてご挨拶申し上げます。



第2550地区 クラブ会長・幹事

第1グループ (7クラブ)



クラブ会長 幹事
なかい ほんしゅう とりかい としお
中井本秀 鳥飼俊夫
大田原 黒 磯

クラブ会長 幹事
たかぎ けいいち むらやま しげる
高木慶一 村山 茂
黒 磯

クラブ会長 幹事
わたなべ わたる えのもと けんじ
渡辺 渉 榎本建司
西那須野

クラブ会長 幹事
よしなり けいじ くんじ まさなお
吉成慶司 郡司昌尚
黒 羽

クラブ会長 幹事
さとう もとのり かさばら ともえ
佐藤元典 笠原智江
那 須



クラブ会長 幹事
てづか ひでお たかだ しゅういち
手塚秀男 高田修一
塩 原

クラブ会長 幹事
かわなが さくえ すずき としたか
川永作衛 鈴木俊貴
大田原中央

第2グループ (5クラブ)



クラブ会長 幹事
はぎわら としお ほりえ たつや
萩原紀夫 堀江竜也
鳥 山

クラブ会長 幹事
さいとう みつる わたなべ のぶお
斉藤 満 渡辺信夫
氏 家

クラブ会長 幹事
なおひ みきお うちだ よしこ
直井美紀男 内田ヨシ子
矢 板

クラブ会長 幹事
たかの てつや かねこ ひるよし
高野徹也 金子大敬
馬頭小川

クラブ会長 幹事
かとう きみお こぐち てるお
加藤公夫 古口輝夫
高根沢

第3グループA (5クラブ)



クラブ会長 幹事
おぎやま たけひこ かとう ゆきお
萩山猛彦 加藤幸夫
宇都宮

クラブ会長 幹事
よこまつ ひるあき きうち ゆうすけ
横松宏明 木内裕祐
宇都宮西

クラブ会長 幹事
やまくち けいすけ ながた ひるやす
山口慶之助 永田博康
宇都宮北

クラブ会長 幹事
かわな さとる しだら あつお
川名 悟 設楽厚夫
宇都宮90

クラブ会長 幹事
くろさき よしお うすくぼ じんじ
黒崎行雄 薄久保仁司
宇都宮陽北

第3グループB (4クラブ)



クラブ会長 幹事
たけし としゆき くらい あきら
太城敏之 倉井 章
宇都宮東

クラブ会長 幹事
やまもと みきお せきぐち たかし
山本幹夫 関口 隆
宇都宮南

クラブ会長 幹事
あまかち ちから えんどう さかり
天川主税 遠藤 盛
宇都宮陽東

クラブ会長 幹事
あさかわ のぶあき いしば まさゆき
浅川信明 石橋正行
宇都宮陽南

第4グループ (4クラブ)



クラブ会長 幹事
たけし としゆき くらい あきら
竹石峰夫 海老原 均
真 岡

クラブ会長 幹事
ふじわら いくぞう さとう ひろし
藤原郁三 佐藤広志
益 子

クラブ会長 幹事
よしば とおる きくしま あきら
吉羽 徹 菊島 章
真岡西

クラブ会長 幹事
おおせき すずむ いじま ようこ
大関 進 飯島陽子
しもつけ

第5グループ (5クラブ)



クラブ会長 幹事
おおもり たけお ふくだ としお
大森武男 福田利雄
小 山

クラブ会長 幹事
やまざき やすかつ やまもと いくお
山崎泰勝 山本郁夫
小山南

クラブ会長 幹事
おおはし としお しまだ まさとし
大橋俊雄 嶋田政利
小山東

クラブ会長 幹事
てつか まさかず つがま せいいち
手束公一 津釜誠一
小山北

クラブ会長 幹事
けいの まさし けいの やすお
慶野正司 慶野保夫
小山中央

第6グループ (4クラブ)



クラブ会長 幹事
わかばやし よしあき すどう たかし
若林芳明 須藤隆志
栃 木

クラブ会長 幹事
きつねづか いくお なかざわ けんじ
狐塚育男 中澤健治
栃木西

クラブ会長 幹事
もくし まさあき わたなべ ひでき
茂郷正明 渡辺英喜
壬 生

クラブ会長 幹事
はせがわ たかし かねやなぎ ひとし
長谷川 孝片柳 均
栃木南

第7グループ (7クラブ)



クラブ会長 幹事
たかい しょうじ きしの みのる
高井祥之 岸野 稔
日 光

クラブ会長 幹事
こばやし かずひこ わたなべ しょうご
小林一彦 渡辺章悟
鹿 沼

クラブ会長 幹事
そうとめ ひさかず こづか ひでゆき
五月女久和 狐塚秀幸
今 市

クラブ会長 幹事
ぬま ひろし やまさき じゅん
沼 弘 山崎 順
鹿沼東

クラブ会長 幹事
いげざわ たつお ほこしま りゅうじ
池澤達夫 箱島隆司
栗野西方



クラブ会長 幹事
かたやなぎ しんいち くるかわ えいいち
片柳伸一 黒川英一
鹿沼中央

クラブ会長 幹事
あさば つぎお みなか はるひこ
浅場次男 三中春彦
今市きぬ

第8グループ (4クラブ)



クラブ会長 幹事
とのおか かつお やなかわ えいいち
殿岡捷男 柳川英一
足 利

クラブ会長 幹事
げんた しゅんしょう ますおか みちこ
源田俊昭 増岡迪子
足利東

クラブ会長 幹事
こんどう たかひこ おぎの じゅんぞう
近藤隆彦 荻野純三
足利西

クラブ会長 幹事
やざわ のりお くらばやし ひろし
矢澤伯夫 倉林 宏
足利わたらせ

第9グループ (5クラブ)



クラブ会長 幹事
もろい きよし ひるかわ としひこ
茂呂居 潔 蛭川寿彦
佐 野

クラブ会長 幹事
たに かずふみ いわさき しょういちろう
谷 和文 岩崎昇一郎
葛 生

クラブ会長 幹事
たむら とおる ならはら まもる
田村 徹 奈良原守
田 沼

クラブ会長 幹事
よしかわ よしお はしもと とうへい
吉川良雄 橋本統平
佐野東

クラブ会長 幹事
あんどう よしお あおき としみち
安藤芳雄 青木敏通
岩 舟

第2550地区 新入会員紹介



国際ロータリー第2550地区 6月会員増強・出席報告



たかはし まさあき
高橋正晃
(西那須野RC)
ゆーあい保険サービス
平成22年4月6日入会
RCの新会員として、自
分のできることを精一杯
頑張ります。



おざき しろう
尾崎史郎
(宇都宮南RC)
(医)北斗会 理事長
平成22年5月1日入会
徳は孤ならず
必ず隣あり



たかはし としゆき
高橋俊行
(宇都宮RC)
東京ガス㈱ 宇都宮支社支社長
平成22年6月14日入会
・ロータリークラブ初体験
です。(一人暮らしも)
よろしくお願ひします。



なかやま やすし
中山 康
(宇都宮RC)
日興コーディアル証券㈱ 宇都宮支店支社長
平成22年6月15日入会
・ロータリー活動は、山形、
高知に続き3カ所目ですが、
よろしくお願ひします。



なり た けいひろ
成田幸弘
(宇都宮90RC)
㈱夢翔 代表取締役
平成22年6月17日入会
・地域貢献に少しでも役立つ
事を行い、また沢山の情報
交換を出来ればと思います。



せきぐち ただし
関口忠史
(大田原RC)
㈱東武宇都宮百貨店 大田原支店店長
平成22年6月17日入会
・職業奉仕のRC精神に基
づき地域の皆様へ愛され
る店作りに取り組みます。



やま の ひろし
山野裕律
(宇都宮RC)
カンバク㈱ 代表取締役社長
平成22年6月18日入会
・ロータリアンとして積極的
に活動したいと思ひます。
よろしくお願ひします。



い どう よしじ
伊藤嘉司
(宇都宮東RC)
㈱伊藤書店 代表取締役
平成22年6月22日入会
・社会奉仕活動を通じ頑
張りたいたいと思ひます。



すずき のりお
鈴木徳郎
(宇都宮西RC)
㈱スズコウ 代表取締役
平成22年7月8日入会
・よろしくお願ひします。

■物故会員■ 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

物故
平成22年1月24日
享年63歳
はるやま ゆきひろ
春山幸弘様
(足利わたらせRC)

■ロータリー歴 平成2年4月5日入会
チャーターメンバー(平成2年4月5日)
初代幹事・8代会長
2004~05年度ガバナー補佐
■財団・米山記念奨学金などの寄付歴
米山記念奨学金3回(功労者)
ポールハリスフェロー・ベネファクター

クラブ例会場
変更のお知らせ
●葛生RCより例会場の変更です。(2010年7月6日(火)より変更)
新例会場/㈱オオガノ内 (2階) 〒327-0507 佐野市葛生西1-3-34
電話 0283-85-4451・FAX 0283-85-4451

文庫通信(274号)

- ◎「職業奉仕とは」 久瀬 邦昭 2010 2p (D.2750)
- ◎「国際奉仕をやっているクラブの方が会員減少が少ないのだ!」 2010 2p (D.2720)
- ◎「重要な変更のお知らせ-1・2 (ロータリー財団寄付に関して)」 2010 2p (D.2840)
- ◎「第15回ロータリー日本青少年交換研究会報告書-1・2・3」 峯岸 則幸 2010 3p (D.2840)
- ◎「国際ロータリー青少年交換の近況」 中村 盟 2010 2p (D.2630)
- ◎「ロータリー簡単図解その4~7〈ロータリー・ロータリークラブとは? / ロータリーとは? 綱領/決議23-34から決議92-286/社会奉仕を考える〉」 鈴木 章夫 2009、2010 4p (D.2520)
- ◎「入りて学び 出でて奉仕せよ」 村上 有司 2010 7p (D.2640)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]
ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp

区分	クラブ名	出席率			会員数							
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員
第1グループ	大田原	4	92.11	87.20	39	39	1	2	4	4	0	2
	黒磯	5	90.86	96.93	45	45	0	0	0	0	0	2
	西那須野	4	98.75	97.94	43	42	0	1	1	2	-1	0
	黒羽	4	95.00	96.12	17	20	0	0	3	0	3	1
	那須	4	87.50	80.77	18	17	0	0	0	1	-1	2
	塩原	5	80.00	78.00	10	10	0	0	0	0	0	0
大田原中央	4	73.90	82.11	20	23	0	0	3	0	3	1	
第2グループ	鳥山	5	92.85	84.31	15	14	1	1	1	2	-1	1
	氏家	4	90.24	90.56	25	24	0	1	1	2	-1	0
	矢板	5	79.50	76.62	31	31	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	4	89.20	84.15	21	21	0	0	1	1	0	0
第3グループA	高根沢	4	70.50	69.86	19	18	0	0	0	1	-1	0
	宇都宮	5	71.10	71.63	96	92	3	5	11	15	-4	0
	宇都宮西	4	93.21	93.83	65	66	1	1	8	7	1	0
	宇都宮北	4	79.93	79.23	50	49	0	0	1	2	-1	0
第3グループB	宇都宮90	4	86.25	89.72	39	39	1	2	4	4	0	5
	宇都宮陽北	3	66.78	74.69	35	36	0	0	1	0	1	4
	宇都宮東	4	93.40	93.40	92	95	1	3	7	4	3	0
	宇都宮南	5	89.93	83.11	51	51	0	2	3	3	0	0
第4グループ	宇都宮陽東	5	78.80	74.67	42	44	0	2	7	5	2	0
	宇都宮陽南	4	80.43	78.98	25	20	0	3	1	6	-5	3
	真岡	4	93.04	92.22	49	50	1	1	4	3	1	0
	益子	5	93.74	91.94	32	29	0	2	2	5	-3	0
第5グループ	真岡西	5	97.38	94.01	41	40	0	0	0	1	-1	6
	しもつけ	5	96.35	94.04	33	33	0	0	1	1	0	9
	小山	4	96.80	97.58	45	46	0	0	3	2	1	0
	小山南	5	94.70	94.70	19	19	0	0	2	2	0	2
第6グループ	小山東	4	91.43	92.77	35	33	0	2	0	2	-2	0
	小山北	5	86.09	82.89	23	20	0	3	3	6	-3	0
	小山中央	4	86.46	79.80	24	24	0	0	0	0	0	1
	栃木	5	83.10	83.31	42	43	0	0	4	3	1	0
第7グループ	栃木西	5	84.50	85.72	39	35	0	5	2	6	-4	0
	壬生	5	82.85	76.69	17	21	0	0	5	1	4	3
	栃木南	4	94.00	85.28	32	31	0	1	1	2	-1	5
	日光	4	68.00	72.91	27	24	0	2	1	4	-3	5
	鹿沼	4	89.70	88.78	67	66	1	3	3	4	-1	1
	今市	5	91.70	91.25	41	41	0	0	2	2	0	0
	鹿沼東	5	93.00	93.80	43	43	0	2	4	4	0	3
	栗野西方	4	100.00	96.42	13	14	0	0	2	1	1	1
	鹿沼中央	4	91.67	87.62	25	27	0	0	3	1	2	2
第8グループ	今市きぬ	4	93.10	93.16	29	28	0	1	2	3	-1	0
	足利	4	75.00	76.94	42	38	0	4	1	5	-4	0
	足利東	4	80.53	75.14	56	55	0	1	4	5	-1	8
	足利西	4	75.00	79.09	13	13	0	0	1	1	0	0
第9グループ	足利わたらせ	4	93.96	95.53	31	30	0	0	0	1	-1	0
	佐野	4	91.90	93.59	58	58	0	1	3	3	0	0
	葛生	5	93.50	89.34	39	39	1	2	2	2	0	0
	田沼	4	92.68	93.74	36	35	0	0	0	1	-1	0
50RC	佐野東	4	76.19	83.84	22	21	0	0	1	2	-1	0
	岩舟	4	92.10	91.61	23	24	0	0	1	0	1	1
50RC			87.17	86.35	1794	1776	11	53	114	132	-18	73

【お詫びと訂正】
※地区委員・クラブ会長・幹事/名簿の10頁、安楽之孝様、松本幸三様、綱島康博様、栗原信明様の4名の方の会社及び自宅の電話・FAXの局番028(誤)となっていました、正しくは0282です。お詫びして訂正致します。
※月信No.1号のガバナー公式訪問日程表において佐野RC訪問日11月1日(誤)となっていました、正しくは10月25日(月)です。お詫びして訂正致します。